

# 平成 28 年度 学校法人 三幸学園 横浜医療秘書歯科助手専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 清 洋介

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 河洲 光史

## 1. 学校の教育目標

三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」に加え、H25年度より人材育成像についても目標を定め「相手のこうして欲しいを理解し考え動ける人材を育成する」という人材育成方針のもと当校では、【当事者意識】という部門目標を定めた。この目標は、クラス担任だけでなく関わる教科の教員含む全ての教員が主体性を持ち、共に生徒へ指導し、決めた目標を継続して行動できるようになるという意図がある。また、この目標については全教員が集まる全体会議(年3回開催)にて共有し、日々の授業でも意識的に取り組むよう心掛けている。

また、社会人として可愛がられる人材を育てることも今年度の目標の1つとし、その行動の具体的なものとして自分から挨拶をする、相手の言動に反応するということを意識的に取り組んでいく。

## 2. 平成28年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### ① 重点施策振り返り

・アクティブラーニングを意識した授業の実践

アクティブラーニングとは、授業において能動的に学習する習慣をつけさせるものである。年度始めにアクティブラーニングを取り入れるべく、各教科で目標を立て、職員室に目標の掲示をした。また、全体会議内や任意の研修を行い、最低限取り入れる手法も定めて各教科で取り組んだ。今年度は新しい手法なども研修の中で紹介し、授業に合ったアクティブラーニングを全教科が取り入れられるよう取り組んでいく。

・担任会議の中での教務研修や、教科の教員含めた任意の研修を行った。今年度も年 5 回実施予定。

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・本校卒業生に関しては、実習や事前研修があるためスムーズに業務にあたることができている。就職辞退や離職を防ぐためにも、社会とはどういうものなのかを感じるよう教育をしていく必要がある。

・アクティブラーニングや未来デザインプログラムの授業を通して、より実践的に、働くイメージができるような授業を行っていく必要がある。

・病院でもハラスメントの講義や、チームビルディングの研修を行っている。

・実践的な部分は現場で指導をしていけば問題ない。素直に聞き入れる姿勢や、相手の気持ちを考えられる力を学校で教育していく必要がある。

・課題はあるが、年々積極的な卒業生が増えてきている。仕事がいやで退職する子はほとんどいない。

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

#### ① 課題

教育理念や人材育成方針等について全教職員で共有し浸透しているが、全教員が生徒に具体的に伝えるところまで至っていない。継続的に意識し続けることが課題と考える。

#### ② 今後の改善方策

- ・各教科での適度な教科会、年3回の全体会議にて課題を共有し対策を考え、実施していく。
- ・教務手帳、職員室に目標を掲示など、目標の可視化。
- ・担任会議で話し合われた内容を全教員へ共有。
- ・専任教員の増員と年5回の教務研修。

#### ③ 特記事項

- ・教育理念の浸透、協力体制を取るべく入学前に新入生向けのオリエンテーションの実施、また保護者向けの保護者説明会を開催。新入生に対しては入学前後のギャップを埋める目的、また保護者に対しては昨年度問題に上がったことを中心に話をし、在学中の生徒指導への協力を仰いだ。
- ・若い職員には OJT や教育係をつけ育成し、三幸学園の原点「あきらめない教育」を小冊子化し、全教職員に配布し浸透している。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・資格は持っている方がよいが、それだけでなく礼儀やマナーの基盤を教わってくる必要がある。卒業生を見ているとその点はクリアしている子が多いと感じる。
- ・今後は自分で考え発信できる人材が必要になってくる。

## (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

### ① 課題

- ・就業規則はきちんと管理されているが、個人への浸透がうすい。
- ・入社1年目の職員が教務のシステムを活用できていない。
- ・教科教員の教育制度をより充実させる必要がある。

### ② 今後の改善方策

- ・就業規則に関わる内容を会議で共有する。
- ・教育担当を明確にし、リアルタイムに指導できるシステムを作る。
- ・教科チーフを中心に計画的に教科会を実施し、教科間での連携を図る。

### ③ 特記事項

年3回の全体会議、月1回程度でOJT会議、週1回の担任会議等を実施している。また、定期的に業務改善を教員間で話す機会を設けている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

情報の管理や、ハラスメント規定が厳しくなっている中で、職員の意識を統一していくことや共有をすることは大切である。

### (3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

#### ① 課題

医療業界との産学連携が難しい。卒業前の内定後研修者の就職認識の違いが課題。

#### ② 今後の改善方策

- ・例年7月に就職対象学年に対する学内の就職イベントで医療機関の方を招いて講義していただく等、当校とのつながりという部分を強化していく。
- ・生徒の就職については、内定を頂く前に 1～2 週間程度体験(研修)をさせていただき、相互に納得した上で内定をいただけるよう、医療機関をお願いをしていく。

#### ③ 特記事項

- ・2回目の全体会議では、外部の講師にお越しいただき、研修を実施している。
- ・授業アンケート・担任アンケートを年 2 回実施し、半期で振り返りと改善ができるよう取り組んでいる。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・実習や就職前の事前研修の取り組みはとても良い。内定等の問題は増加しているが、こちらも正しい知識を持つ

て対応していくことが重要である。

・医療機関側としても、卒業生と学生のつながりを深め、教育をしていきたい。

#### (4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	4	3	2
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

##### ① 課題

- ・毎年、新入生クラスから退学者が出てしまう現状がある。
- ・内定後研修の辞退者が出てしまう。

##### ② 今後の改善方策

- ・新入職員クラスには担任指導者が副担任という立場でクラスに入るよう配置。クラスのわずかな変化に気付ける環境を整えた。
- ・退学理由として多いのは精神的な病を抱えている生徒が多いため、早い段階での専門カウンセラーへのカウンセリングへの促しを担任より実施。
- ・内定前の研修を医療機関と協力して行う。

##### ③ 特記事項

- ・在校生に対して、何人かの卒業生に就職や実習の講話をしてもらっている。
- ・スタートアッププログラム等の行事を通し、皆精勤率アップのための取り組みを行っている。

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

就職率や資格の合格率を見ても、卒業をすれば活躍できる。離職率については在学中から社会の厳しさを伝えていくことも必要である。

## (5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

### ① 課題

卒業生の就職支援についての体制はあるが、認知がうすい。また卒業生の状況について把握が難しい。

### ② 今後の改善方策

- ・問題行動のある生徒だけでなく、適切な時期を見て、定期的に保護者への連絡を実施。
- ・メンタルの弱い生徒へのカウンセラーへの促しを早急に行う。また、生徒指導研修等、積極的に取り入れていく。
- ・同窓会リンクにて SNS を利用し、卒業生サポートの認知を広げる。

### ③ 特記事項

- ・経済的な支援策として入学時に特待生制度を導入。合格者は学費の免除を受けられる。
- ・日本学生支援機構による奨学金制度の適用。三幸学園初期費用軽減&学費分割制度という学園オリジナルの制度、経済支援制度などを取り入れている。
- ・就職に関しては、担任とエリア担当のダブルフォローを行っている。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業生として、HP やツイッターを利用はしていない。相互にメリットのあるつながりを考える必要がある。

## (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

### ① 課題

- ・特に2号館は老朽化に伴い、改築が必要と思われる。
- ・各個人の防災に対する知識や意識の向上が必要。

### ② 今後の改善方策

- ・防火管理者の人数を増やし、防火管理者より職員・生徒への防災に関する指導を実施。

### ③ 特記事項

- ・防災訓練は年に1回実施している。
- ・生徒用トイレを全て洋式にし、授業で使用するパソコンも全て新しくした。
- ・パソコン室等使用頻度の高い教室にプロジェクターを設置した。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

### ① 課題

未だ診療情報管理士の募集が芳しくない。

### ② 今後の改善方策

- ・資料請求者への診療情報管理士の告知強化。WEBでの告知強化。
- ・早い時期での診療情報管理士説明会を実施。

### ③ 特記事項

- ・一般財団法人 神奈川県専修学校各種学校協会が定めた募集時期や内容に関して遵守している。
- ・H28 年度診療情報管理士認定試験の合格率は 100%だった。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・診療情報管理士の資格を持っていたら何か良いのかを具体的に伝えていく必要がある。
- ・医療秘書科からの転科も視野に入れ、在校生にも管理士科の魅力を伝える。
- ・実際に診療情報管理士の資格が入力後に活かしきれていない現状があるが、採用側としては資格を持っているというのはプラスであり、就職には有利と考える。
- ・DPC 病院が増えれば需要は上がるが、今ではそこまで増えている現状はない。新しい政策が出るとまた状況は変わる可能性がある。



## (8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

### ① 課題

#### 【中長期計画】

中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更新の中長期計画を策定する必要がある。

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

#### 【財務情報の公開】

ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

### ② 今後の改善方法

#### 【中期計画】

今年度の新中期計画を策定する予定である。

#### 【財務情報の公開】

今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

### ③ 特記事項

なし

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし。

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

更なる法令遵守の推進

② 今後の改善方策

会議や掲示物などを通じて、全ての教員に対して法令遵守をさらに徹底させる。

③ 特記事項

平成27年度自己評価結果より公開を開始、継続中。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

### ① 課題

ボランティア活動がまだ体系化されていない状況。

### ② 今後の改善方策

ボランティア活動をする生徒を増やし、様々なボランティア活動に参加したい。

### ③ 特記事項

- ・地域貢献活動(ハロウィンイベント)開催。
- ・ワールドポーターズ内の福祉施設にて生徒によるボランティア活動実施。
- ・姉妹園キッズ大陸でのボランティア活動や実習を実施。

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・姉妹高校のボランティア部と一緒に活動をする。
- ・ゴミ拾い等、身近なところから始めていく。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を人材育成方針とし、日々の授業の中にもアクティブラーニングで考え発信する習慣をつけていくことに取り組んでいる。就職希望者の就職決定率は100%で決まっているが、就職後に活躍できる人材を育成するためには、社会に出た後のことを想定し、社会の厳しさや素直に聞き入れる姿勢を育む必要がある。今後は医療機関や卒業生との関係性を強化し、現場の声を取り入れながら社会で活躍できる人材を育成していきたい。